

開校60周年

学び考える生徒 思いやりのある生徒 すすんで心身を鍛える生徒

滑中だより

令和4年2月1日発行 第10号 発行者 校長 八木原利幸



夢ふくらむ、「光の春」

オミクロン株が猛威を振るい、多くの都道府県で「まん延防止等重点措置」が適用され、日常生活にも影響がでています。そんな中、梅があちこちで開花したとの明るい知らせも届き始めています。3日は節分、4日は立春、暦の上では「春」がやってきます。しかし、寒波は依然日本列島に居座り、冬の冷たく厳しい空気で一帯を覆っています。

埼玉地方の気温を見ると、一日の最高気温が立春をさかいに少しずつ高くなります。明日から突然「春」になるというわけではありませんが、温かい日と寒い日を繰り返しながら3月の春本番を迎えるのです。いわゆる三寒四温といわれる時期です。この言葉はもともと中国の東北地方や朝鮮半島で使われていた言葉だそうです。ちょうど1週間で天気周期が変わることになります。

まだ寒さの厳しい日が続きますが、「春」はもうすぐそこまで来ています。昼の時間が長くなり、日当たりの良い部屋の中はまさに「春」そのものです。開催状況の詳細は分かりませんが沖縄では、桜まつりの時期となりました。たとえ、ウイズコロナの生活は強いられても、冬から春へ、気持ちも高まり、何となく未来への明るい希望も湧いてくる季節です。

「防災とまちづくり、防災教育を通して学ぶもの」

1月17日(月)、比企広域消防本部滑川分署、滑川町消防団、滑川町役場、東京ワックス株式会社等の協力を得て、総合的な防災訓練を実施しました。本校にとってこれだけ大規模に防災訓練を行うのは初めてだと思います。町長がよくお話をする「住んでよかって、生まれてよかった」滑川町をつくるためにも「まちづくり」を「防災」という視点からとらえてみることはとても大切であり、町唯一の中学校が担うべきこともたくさんあると思います。

ところで「地域課題解決学習」という言葉があります。地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき地域課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる「学び」のことです。学校を核とした地域づくりを推進するためには、「地域課題解決学習」を学校の教育活動の中に位置づけることは大切であり、学校が持続可能な地域づくりに貢献することにつながります。今回の防災訓練は、「よりよいまちづくり」という考え方を中学生が意識する一歩になると確信しています。

自然災害の多い日本において、地域みんなで取り組む防災教育はとても大切です。中学校の授業の中でも、家庭科や保健体育、理科等において、大地震などの自然災害について学ぶ機会がありますし、どこの学校でも学期に最低一回は避難訓練をしています。特に平日昼間の災害発生時には、地域の大人が少ない場合が想定されます。従って、地域の様々な機関と中学校とで連携・協働し、中学生に活躍する場面を想定し、災害弱者といわれる方々を支援できるスキルを学べる防災学習や訓練を実施することには価値があります。

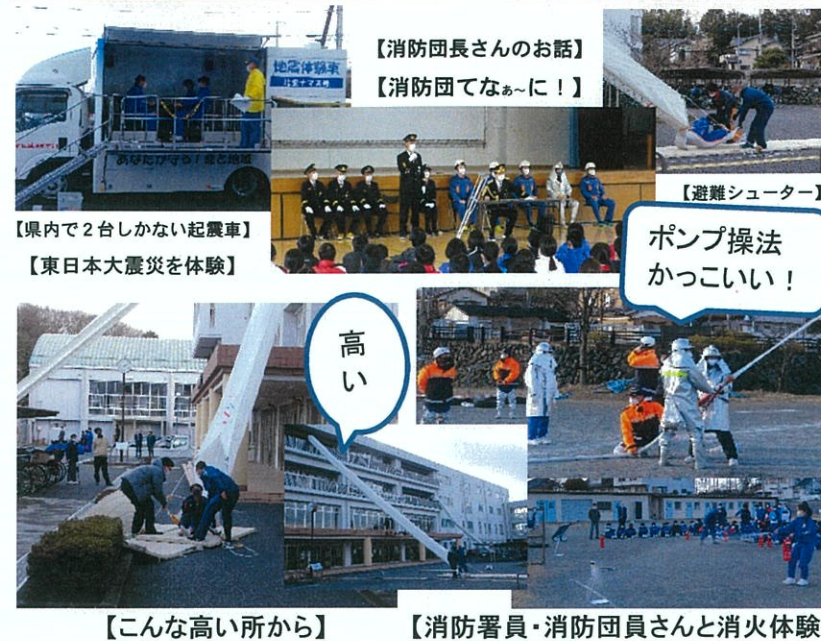
本校は避難場所に指定されています。9月には、NPO法人の協力を得て、実際の避難所運営を想定して「ダンボールベッドづくり」を3年生が体験し、11月には2年生が家庭科の中で、役場職員を講師に、避難所運営の仕方やハザードマップの活用法について学習をしました。これらの実践は、今回の防災訓練にも大いに役立っており、継続して取り組むことの大切さを改めて感じました。今後も教員とPTA、学校運営協議会等の組織と連携を図り、体験型の防災学習や防災に関する知識・技能を学ぶ学習を積極的に実践していくことが望まれます。

挑戦したい取組はたくさんあります。避難所運営には、男女共同参画の視点が重要となります。女性教育団体と連携した避難所の設営・運営に関する訓練(HGゲーム)やワークショップ等の実施もおもしろいです。そして、より多くの地域住民が中学校の行う防災訓練に参加できるような工夫、例えば、学校行事と組み合わせたり、小学生を巻き込み防災に関する知識や技能を楽しく学びながらの取組も考えられます。

防災教育は、地域に属する一人一人の防災意識の向上を図り、地域内の連携を促進させ、地域の防災力を強化することを目的としています。そのため、学校には、地域の災害履歴や防災に関する「知識」、みんなで協力して災害に立ち向かうとする「態度」、安全な避難や的確な救命救急などを実践できる「技能」をバランスよく育成していくことが求められるのです。

お願い：入試も大きな山場を迎えようとしています。学校は、より一層、感染症対策に万全を期して教育活動を行ってまいります。御家庭の御理解と御協力をお願いいたします。

地域防災意識の向上を目指した 地域防災教育・避難訓練の様子



【県内で2台しかない起震車】 【東日本大震災を体験】 【消防団長さんのお話】 【消防団でなっ-に!】 【避難シューター】 【ポンプ操作 かつこいい!】 【こんな高い所から】 【消防署員・消防団員さんと消火体験】

「さすがです。滑中生!」

【比企地区書きぞめ展】

【特選】1年	浅見 芽里	稲葉 颯希	武内 愛心	古谷まなみ	細井 蓮人
	川田いつき	幸保 有珠	賛田 結衣	茂串 菜乃	大塚ちとせ
	鬼塚 仁瑚	齊藤真菜美	山崎 清花	石川 美冴	中田 萌夢
【特選】2年	濱口 陽美	上野朔太郎	笠原 妃莉	岡田 碧馬	中村 奏
	梅澤 透空	小林千莉奈	佐藤 葉月	大久保結衣	小林 由菜
	遠山 真夢	成内 悠華	能見 悠加	武藤 瑠衣	
【特選】3年	草川 萌	小久保陽菜	坂村侑季	栗原 沙弥	吉川 真菜
	大嶋 由香	中野 結愛	野澤璃々花	新井 杏佳	瀬上 莉杏
	細井 美羽	森 侑香	大澤 怜奈	大嶋 美玖	杉本 陽菜
【優良】1年	中山 琉生	岡崎 秀斗	金子 悠大	瀬上 姫愛	森 美優
【優良】2年	新井 恭吾	長嶋 莉乃	加藤あかり	花田 海流	市川 彩葉
	池田 奏				
【優良】3年	稲葉 大陽	小松 鳳空	秋庭結希子	小菅 環	森田 拓夢
	倉田 友鈴	高橋 美桜	中村侑莉香	横田 優奈	鈴木 賢太
	田中 颯馬	小林 真央	長谷部優斗	藤野 美花	

資源回収御協力をお願いします

中学校では、今年第2回目の資源回収を2月26日(土)の8:00~9:00まで実施いたします。場所は、本校北門(生徒昇降口)前でPTA本部

役員がお引取り致します。収益は、PTAの収益金として、生徒の教育環境整備費に活用させていただきます。【回収可能な資源】◎アルミ缶

◎新聞紙 ◎雑誌 ◎段ボール



行事予定 2月

1	火	A時間割再開	3年3者面談
2	水		
3	木	部活動なし	
4	金		
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		2年生キャリア教育期間
9	水	3年学年末テスト	
10	木	3年学年末テスト 県公立高校出願(郵送)	部活動なし
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		
14	月	県公立高校出願(郵送)	
15	火		
16	水	ふれあい弁当 交通安全指導、町防災放送訓練	
17	木	県公立入試志願先変更期間	部活動なし
18	金	県公立入試志願先変更期間 生徒集会、委員会	
19	土		
20	日	英検2次試験	テスト前部活動停止期間
21	月		
22	火	金曜日課・授業(金1・金2・金3・金4・金5・金6) 3年県公立入試事前指導(6校時)	
23	水	天皇誕生日	
24	木	県公立入試学力検査	
25	金	県公立入試実技検査 1・2年学年末テスト	
26	土	PTA資源回収(8:00~)	
27	日		
28	月	1・2年学年末テスト	

新機能満載!新体育着お披露目



- 【新体操着のセールスポイント】
- ①ストレッチ性・防風性・丈夫な素材
 - ②デザインが(onlyone)③反射ラインで安全強化
 - ④速乾性が高く、しわになりにくい
 - ⑤半袖は、裏地にキュプラを採用(除湿力アップ)